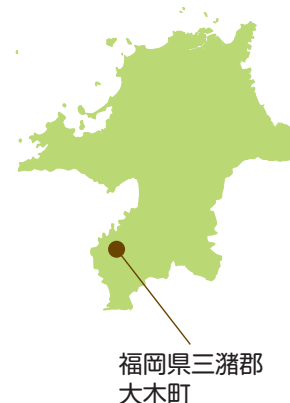


農事組合法人モア・ハウス

※2017年3月現在

| | | | |
|--------|--|------|--------------------|
| 代表者名 | 大藪 佐恵子 | 資本金 | 11 百万円 |
| 設立年 | 1997年7月30日 | 売上高 | 171 百万円 (2016年3月期) |
| 事業内容 | 生産（しめじ、アスパラガス）、消費者直売、加工・製造 | 経営規模 | 田1.5ha、生産施設10,822㎡ |
| 従事者数 | 23人（うち女性19人。女性内訳：役員4人、一般職5人、常勤パート10人） | | |
| 女性活躍支援 | <p>[女性に配慮した取組み、実績のある制度・支援]</p> <p>短時間勤務制度等の措置、時間外労働及び深夜業の制限、育児休業後の継続就業支援</p> <p>[女性に配慮して取組んだ環境整備]</p> <p>施設設備関係（休憩室・屋内トイレ・シャワーの設置）、重労働等の業務改善</p> | | |



経営概況

（農）モア・ハウスは福岡県三潁郡大木町の経営体で、ぶなしめじとアスパラガスを生産している。発足のきっかけは、JA福岡大城大木地区しめじ部会が女性中心で経営するしめじ生産の法人をつくろうと考え、経営者となる女性を公募したことである。この公募で集まった4人の女性役員がそれぞれ600万円の出資をし、1997年に法人を設立した。技術的・経営的ノウハウがなく、もともと知り合いではない女性4人で経営をスタ

ートさせることに対して最初は不安を感じていたが、それぞれの強みを活かした役割分担のもとで経営に取組み、経営発展につながっていった。

最初はぶなしめじの生産のみを行っていたが、1999年にぶなしめじの廃菌床を活用したアスパラガスの生産を開始し、その後はきのこご飯の素や焼きエリンギといった、加工品の製造販売も手掛けている。2004年には全国農業コンクール名誉賞、2007年にはJA地域特産加工品コンクールJA加工協会長賞を受賞している。

現在の経営規模は田1.5ha、生産施設（ぶなしめじ、アスパラガス）10,822㎡である。生産量はぶなしめじ390t、アスパラガス20tである。従業員数は創業時の10名から、19名にまで増加している。従業員19名のうち15名が女性であり、内訳は一般職5名、常勤パート10名である。



1. 女性が能力を発揮し活躍できる職場

経営方針として「生産現場を担う女性が農業で

自立し、古い体質のムラを希望あふれる“素敵なお田舎”へ変えていく」、「女性役員が各自のキャリアを活かした役割分担のもと、その能力を發揮し高収益の経営を実現する」などを掲げている。役員女性の4名のみならず、他の女性従業員も、職場で活躍して成果をあげている。

社内体制として、主任・副主任という役職を設けており、役員不在のときでも現場の指示ができるような体制を整えている。主任・副主任には法人設立時から勤続している正社員の女性1名ずつが就いている。また、生産部門においては女性のきめ細やかな栽培管理により収量が向上し、2015年度に比べ2016年度は約1割の売上増加につながっている。

その他に法人全体の工夫として、流行に合わせたタイムリーな品種転換や高性能な包装機の導入などを行っており、生産性の向上や売上の増加につながっている。

2. キャリア形成への取り組み

従業員に対しては、月1回の個人面談で作業上の悩みを聞き、スキルアップのための技術的なアドバイスを行っている。また、個人の能力と実績を評価して給与を決定していることやパートからの正社員登用を行うことで、従業員のモチベーションアップにつながっている。実績として、今までに5名のパートが正社員登用されている。

さらにアスパラガス生産では研修生を受け入れており、研修生の独立支援も行っている。今までに11名の研修生を受け入れており、8名が独立している。このように、女性がキャリアアップできるように様々な取り組みを行っている。

3. 女性が働きやすい環境の整備

産休や育児・介護休暇の制度を導入している。

そして育児休業後の継続就業支援に取り組んでおり、女性がキャリアを継続できるように配慮している。また、福岡県が独自に実施している「子育て応援宣言」に登録しており、従業員の休暇や勤務時間の調整に積極的に取り組んでいる。具体的には、家庭や子供の行事などに配慮して就業時間を融通したり、9時～15時の短時間勤務制度を導入したりしている。現在は3名が短時間勤務で働いている。

施設面では、トイレと更衣室兼休憩室が整備されている。他には椅子とテーブルを設置して座席で調製作業ができるように配慮している。

4. JA 福岡大城大木地区しめじ部会女性部としての活動

モア・ハウスは、1998年に結成されたJA福岡大城大木地区しめじ部会女性部で中心となって活動している。女性部はしめじ部会に所属する各経営体の女性で構成されている。

女性部では消費者交流などの販売促進活動を年間100回近く行っており、大木町のファンの増加や地域特産物であるしめじの消費拡大に貢献している。また、きのこのレシピ本の作成も行っている。

審査委員の声

地域の企画によって公募で集まった経営経験のない女性4名が、それぞれ個人で借金をして資本金を捻出し法人を立ち上げた、との話にわが耳を疑った。このような組織は他に類を見ない。役員はそれぞれに个性的で、得意分野も異なって調和がとれており、従業員もみな生き生きと働いている。ここに辿り着くまでには幾多の苦難があったはずだが、役員各氏の強い向上心と努力の結果が今にある。